



発行：NPO法人みのお山麓保全委員会 2020年(令和2年)1・2・3月号

地球温暖化による影響に上手に対応するために どのような取り組みが必要なののでしょうか？



大阪の過去100年間の気温は2.0℃上昇しており、世界全体や日本全体よりも早いスピードで気温が上昇しています。

大阪府では「地球温暖化対策実行計画」において、気候変動の影響と、それに対応する適応についての考え方をまとめています。

温暖化ができるだけ進まないように温室効果ガスなどの排出を減らす「緩和」への努力が必要です。

それでも発生してしまう影響に備えて、被害をできるだけ減らす、影響を受けないようにする「適応」策を考えることが大切です。

温暖化によってどのような影響が発生するかは、地域におかれた環境によって違います。私たちが暮らしている箕面にはどのような特性があり、どのような取り組みが必要なのか、みんなで考えましょう！

箕面の身近で豊かな自然の恵みと自然災害の脅威

市街地の背後に山がせまり、四季折々に美しい山なみは箕面の魅力のひとつです。箕面大滝と急峻な溪谷美、明治の森箕面国定公園に代表される身近な自然を訪ねて、多くの行楽客が訪れ、地域の活力の源になっています。



一方で、過去に台風や河川の氾濫や土砂崩れなどが何度も発生し、人命や財産を奪われる被害を経験してきました。昨今の大型台風の発生や短時間強雨の増加により、風水害や土砂災害のリスクが増大しています。



温暖化による影響に上手に対応する ～「適応」ってなに？～

大阪はより暑くなっている！

出典：大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

21世紀末の大阪の年平均気温は、20世紀末に比べ約2.8℃、特に冬は約3.0℃上昇し、年降水量は150mm程度増加し、日降水量100mm以上の年間日数は2倍以上に増加すると予測されています。

緩和とは？ 適応とは？



「緩和」

人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、まずは温暖化ができるだけ進まないよう、温室効果ガスの排出を減らす取り組みが大切です。

「適応」

まず緩和を進めた上で、それでも現在、または将来の発生が予測される気候変動の影響に備え、その被害を回避し、または和らげていくことが、これからは必要になっています。

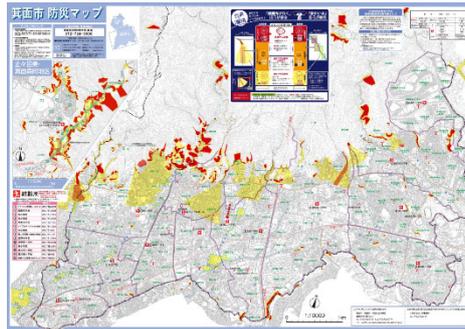
自然災害への影響に適応するためには

《現状・将来予測》

- ダムやため池などの治水能力を上回る短時間強雨の発生による水害の発生
- 土石流や地すべりなどの山地災害の発生
- 突発的で局所的な大雨により、リードタイム（防災行動に必要な時間）が短い災害の増加

《適応策のいろいろ》

- 洪水調整施設や河川の堤防、下水道などの着実な整備
- 間伐や植林などの森林整備により、水源涵養や土砂の流出防止などの機能の強化
- ハザードマップなどによる災害リスクの確認



土石流の危険区域

人家や道路に近く、地形や過去のデータから土石流の危険がある場所や、傾斜角度30度以上で高さ5メートル以上の急傾斜地などのうち、土石流やがけ崩れなどの被害が出るおそれのある場所を示しています。

浸水害の想定区域

千里川、箕面川、余野川、勝尾寺川、箕川およびその支流が、200年に1度の大雨（最大時間雨量約94ミリメートルまたは日雨量356ミリメートル）で増水し、河川から氾濫（はんらん）した場合の浸水予想に基づいて、浸水する範囲・深さを示しています。

※箕面市ホームページに掲載されているハザードマップで、住まいのエリアを確認して、避難方法を確認しましょう。

自然生態系への影響に適応するためには

《現状・将来予測》

- 大阪府レッドリストにおいて、絶滅の恐れのある種、絶滅と選定された種が増加
- 生態系や種の分布などの変化

《適応策のいろいろ》

- 野生生物の生息状況のモニタリング
- 地域の生物多様性の保全（優れた自然環境や良好な緑地環境の保全）



オオサンショウウオ



アカハライモリ



ニホンヒキガエル



カスミサンショウウオ

3月15日(日) こもれびの森 現地見学&植樹イベント

台風被害を受けた こもれびの森を再生するための活動の参加者を募集しています！

シカによる食害から植生を守るために、被災地の周辺にはシカ害防止柵を設置しています。当日は柵の中に入り、現地を見学した後、比較的平坦な作業道沿いでイロハモミジの植樹を行います。

※植樹苗や杭などの資材は、NPO山麓委員会が箕面の山の災害復興募金として預かっている資金で購入します。

日時:2020年3月15日(日) 9:30~14:00ごろ

阪急箕面駅前集合 午前9時30分 **※事前予約が必要(申込順)**

※申込:メール又はFAXで、氏名・連絡先をNPO山麓委員会にお送りください

箕面駅⇒ハイキング道⇒オケ原林道⇒こもれびの森 **※現地までハイキング**

シカ害防止柵ゲート入口 ~現地見学・昼食~ イロハモミジの植樹



みどりのまちづくりが魅力の一つである箕面では豊かな自然環境を保全することが大切であり、森林が持つ持続可能な防災・減災機能を引き出し、活用することが重要です。防災、減災のために、箕面川ダムのようなインフラ整備だけでなく、森林が持つさまざまな機能をうまく組み合わせて、お互いに補い合うことが、有効な対策の一つとして期待されています。

こもれびの森は「生活環境保全林」に指定されており、森林整備により市民に憩いの場を提供する機能を高めるとともに、下流のまちを土砂災害の危険から守る機能の向上が期待されます。



2018年9月の台風で被災

作業道を作って機械で処理

風倒木を搬出・撤去

シカ害防止柵を設置

箕面の山災害復興募金にご協力をお願いします。3,000円以上の募金の方に、箕面の森と生き物のDVDを進呈！

冬に赤い実をつけるのは、植物が生き残るための戦略？

冬枯れの景色の中では、赤い実がひととき目立ちます。鳥などに食べられることによって、遠くに種子を散布するためには、赤い色の方が目立つので有利だからでしょうか？箕面の森をゆっくり歩いて観察してみましょう。



ナンテン



アオキ



アリドオシ



ヤブコウジ



センリョウ



ミヤマフユイチゴ



シロダモ



コバナガマズミ



コマユミ



タマミズキ

公益信託「みのお山麓保全ファンド」助成、2月期の募集

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、山林所有者や市民の活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。

NPO山麓委員会は、中間支援組織として、市民や山林所有者の活動支援や「みのお山麓保全ファンド」の助成を活用した活動の相談、助成申請の受付などを行っています。お気軽に事務局までご相談ください。

- 申請受付期間: 2月1日(土)～29日(土) ■ 対象となる事業期間: 2020年4月1日～2021年3月31日
- 助成金額: 1件あたり25万円以内
- 助成の流れ: 受付(2/1～29)⇒運営委員会助成決定(3月下旬)⇒助成(5月下旬～6月上旬)

2019年度「みのお山麓保全ファンド」の助成実績

一般助成(山林所有者/自然緑地等指定同意書提出者による活動を助成)

■ 件数: 76件、7,428,100円を助成、※新規自然緑地同意: 2件 山林整備ボランティア派遣要請件数: 45件

一般助成(市民団体による活動を助成)

■ 件数: 18件、2,476,640円を助成

箕面の山パトロール隊 ¥250,000 箕面だんだんクラブ ¥225,000 しおんじ山の会 ¥190,000 杜の会 ¥43,500
とんど山桜園の会 ¥91,000 かやの中央まち育て交流会 ¥250,000 外院の杜クラブ ¥53,000(2月期 ¥12,000
・8月期 ¥41,000) みのお竹林クラブ ¥60,000 箕面の森の音楽会実行委員会 ¥180,700 みのおエコクラブ
¥250,000 みのお森のふれあい広場運営委員会 ¥110,000 里山散策路をつくろう会 ¥19,000 箕面生物多様性会
議 ¥112,800 高田博光(明治の森箕面国定公園写真展) ¥185,000 箕面の森のきこり隊 ¥109,000 箕面観光ボラ
ンティアガイド ¥250,000 箕面マウンテンバイク友の会 ¥97,440

特別助成(ハード整備)

■ 件数: 1件、1,261,196円を助成 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会(箕面の森の案内地図板の整備)

NPO法人みのお山麓保全委員会が自然公園功労者「環境大臣表彰」を受賞!



環境省では、自然公園の保護とその適正な利用に関し、顕著な功績があった者(または団体)を表彰し、これを讃えるために毎年度「自然公園関係功労者環境大臣表彰」を行っています。

NPO法人みのお山麓保全委員会が自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞しました。

令和元年度は27件が選ばれ、9月28日に支笏洞爺国立公園指定70周年シンポジウムとあわせて環境大臣表彰が行われました。

平成14年より、ボランティア活動のプラットフォームとして、活動のコーディネートや情報発信を行うとともに、府民が箕面の森に親しむ場所・機会を提供し、安全対策にも積極的に取り組むなど中間支援組織として尽力したことに対して授与されました。

毎日のお買い物で、箕面の山の豊かなみどりを守る取り組みを元気にしよう!



「ゆずるWAON」は、どこでご利用されても、利用金額の0.1%が、イオンから「箕面のみどり推進基金」に寄付されます。箕面のみどりを守り育てる取り組みに役立てられる社会貢献の仕組みです。

電子マネーカード「ゆずるWAON」は、イオン、マックスバリュウの他、ファミリーマートやローソンなどのWAON加盟店でご利用できます。

「ゆずるWAON」の発行手数料は300円です。NPO法人みのお山麓保全委員会の事務所でも販売をしている他、近畿地区のイオン、箕面市内のマックスバリュウなどでお買い求めいただけます。※一部販売していない店舗があります。

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

